

# 出

# 愛

令和6年度 流山市立おおぐろの森中学校  
第2学年 学年だより 第9号  
令和6年12月16日発行

## 〈プロフェッショナルから学ぶ！ 職業人講話を行いました！〉

2学期に入り、体育祭や合唱コンクールを終えた後、2年生では「キャリア教育」を行いました。来年度は3年生となり、進路選択がいよいよ現実のものとなります。これに向けて、生徒たちは自分の将来について考え、働くことに対する理解を深めることが重要です。キャリア教育では、自己理解を深めながら、進路選択に必要な情報収集を行い、自分の適性や将来の設計を考える力を育むことを目的としています。また、進んで学習に取り組み、自分の強みを伸ばしていくことが求められます。生徒たちが社会とのつながりを意識し、働くことの意義を理解することも大切です。自分の進みたい道を見据え、目標を立て、主体的に行動する力を養うことが、将来に向けた大きな力となります。このような意識を持ちながら、進路選択を進めていくための土台作りをしています。

11月26日には、学校支援コーディネーターの横塚様にご協力いただき、実際に社会でご活躍されている方々をお招きして、職業人講話を行いました。生徒たちは16種類の職業から自分で興味があるものを3つ選び、直接お話を伺う機会を得ました。講師の方々は、職業に対する情熱ややりがい、苦労などを率直に話してくださり、生徒たちにとっては非常に刺激的で貴重な経験となりました。生徒たちは、それぞれの職業に対する理解を深め、将来の選択肢を広げることができたのではないのでしょうか。進路選択は、単なる「仕事を選ぶ」ことにとどまらず、生徒が自分の将来について考える大切な過程です。これからも、キャリア教育を通じて、自分の可能性を広げ、具体的な目標に向かって一步一步進んでいけるようサポートしていきます。引き続き、家庭での温かいご支援をよろしくお願いいたします。

さて、生徒たちはそれぞれの講師の方の話を聞いて、どのようなことを感じたのでしょうか？



## ～職業人講話 生徒感想～

<p><b>1組 三浦さん</b></p> <p>職業人講話では、仕事への向き合い方やモチベーションについての話が印象に残りました。講師の皆さんは、それぞれ自分に合った職業や好きな仕事をしており、自由に生き生きと働く姿に感動しました。働くことが大変だと感じていた自分にとって、講師の方々には尊敬すべき存在だと感じました。今、私たちにできることは多くはありませんが、どのような未来を作りたいかを考えることが大切だと思います。そして、学校生活を送りながら、自分に正直に生きることの大切さを改めて感じました。</p>	<p><b>2組 齋藤さん</b></p> <p>食品メーカーやゲームエンジニアといった職業にも、さまざまな専門職があることを知り、驚きました。物作りの裏には、多くの人々が支えていることを実感し、将来に向けてさまざまな職業について調べてみたいと思いました。また、自分が今できることとして、社会で自立するために必要なコミュニケーション能力を高めるために、さまざまな人と話すことが大切だと感じました。今のうちに多くの経験を積むことが、将来に役立つと思いました。</p>	<p><b>3組 岡田さん</b></p> <p>以前は、早く将来を決めた人が理想の職業に就けると思っていたのですが、講師の方々のお話を聞いて、高校生や社会人になってからでも夢を実現できることを知り、諦めないことの大切さを学びました。特に、「好きだから専門学校に行く」「海外に行く」といった思い切った行動に感銘を受けました。これからは、消極的な自分を変えて、積極的に人と話し、コミュニケーション能力を高めたいです。また、自己管理やスケジュールの組み方も意識していきたいと思いました。</p>
<p><b>4組 安保さん</b></p> <p>目標を達成するためには、まず努力が必要であり、小さなことから達成することで夢に近づけると感じました。また、社会で人と関わる際には、傾聴と共感が大切で、お互いに意見を言い合い、聞き合うことが協力のカギになると感じました。今後は、問題に直面した時、すぐに諦めるのではなく、何度でも挑戦し、分析しながら解決策を見つけていきたいです。人の意見を大切に、積極的にコミュニケーションを取ること、そして努力を続けることが大切だと感じました。</p>	<p><b>5組 前田さん</b></p> <p>イラストレーターは絵が上手ければなれると思っていたのですが、講師の方が「絵が下手でも愛情を込めれば描ける」と話していて印象に残りました。また、文部科学省の仕事について私たちが知っていることは少なく、私たちのタブレットにも関わっていると知り驚きました。社会で自立するためには、身の回りを管理し、何をすべきか考えることが大切だと思いました。多くの夢や目標を持ち、未来の可能性を広げることが重要だと感じました。</p>	<p><b>6組 榎戸さん</b></p> <p>講師の方の「どうしたら人に話しかけてもらえるか」の質問に対する答えの「笑顔でいること」が印象に残りました。シンプルだけど、常に笑顔でいることの大切さを感じました。進路選択は未来の自分をどうしたいかを考えることですが、今は自分の得意や好きなことをもっと知る必要があると思いました。だからこそ、勉強や運動、会話など色々なことを経験して、自分を理解し、自立できるようにしたいと感じました。</p>

## 〈2学期を終えて〉

2学期は、体育祭や合唱コンクールをはじめ、たくさんの行事がありました。生徒たちは、学業と行事の両立を頑張り、充実した日々を過ごすことができました。3学期は、いよいよこの1年間の集大成として「3年生を送る会」が控えており、また進路選択に向けての大切な時期でもあります。生徒たちは新たなスタートを切る準備を進めていきますが、この時期に不安や焦りを感じることもあるかもしれません。保護者の皆様には、引き続き温かい励ましとご支援をお願い申し上げます。生徒たち一人ひとりが自信を持って新たな一歩を踏み出せるよう、共にサポートしていきましょう。